

宮古島地方の地震活動図

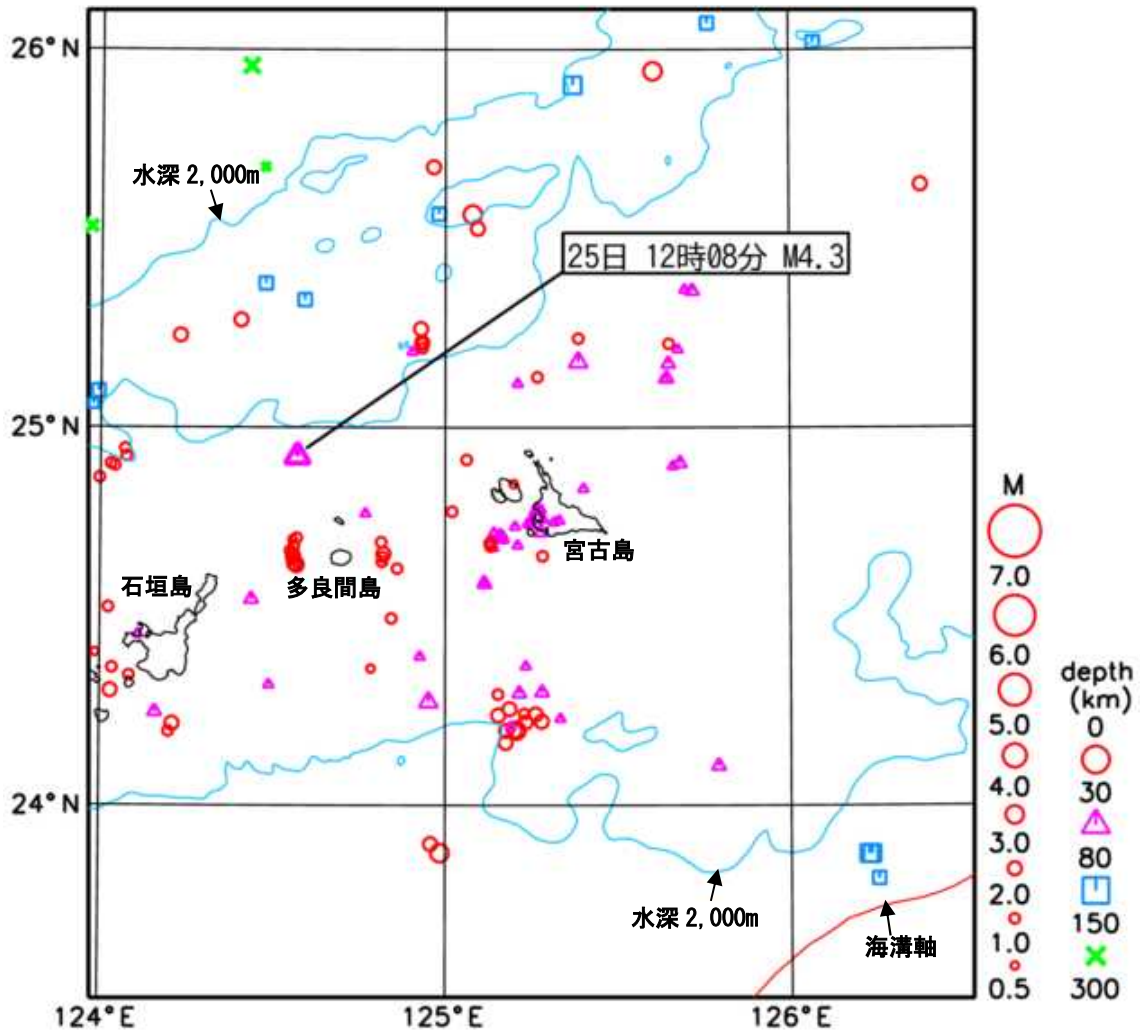
令和4年（2022年）3月

宮古島地方気象台

震央分布図

2022 03 01 00:00 -- 2022 03 31 24:00

N=131



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

宮古島地方で震度1以上の地震を観測した場合は、吹き出しで示しています。

【概況】

今期間（3月）、宮古島地方で震度1以上を観測した地震は4回（2月は4回）でした。

19日04時04分に石垣島北西沖で発生した地震（M5.9、深さ171km）により、竹富町（西表島）で震度3を観測したほか、鹿児島県徳之島から与那国島にかけて震度2から1を観測しました（震央分布図範囲外、別紙1参照）。

23日02時41分に台湾付近で発生した地震（M6.6）により、伊良部島から与那国島にかけて震度2から1を観測しました（震央分布図範囲外、別紙2参照）。

25日12時08分に宮古島近海で発生した地震（M4.3、深さ74km）により、宮古島から西表島にかけて震度2から1を観測しました。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:3月1日～31日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2022年03月17日14時06分 沖縄県	石垣島北西沖	25° 49.1' N	123° 51.5' E	179km	M5.3
震度 1 : 多良間村塩川, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西* 宮古島市下地*, 宮古島市平良西里*					
2022年03月19日04時04分 沖縄県	石垣島北西沖	25° 34.0' N	123° 57.3' E	171km	M5.9
震度 2 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部前里添 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地*, 宮古島市上野支所* 宮古島市平良西里* 震度 1 : 多良間村塩川, 多良間村仲筋*, 宮古島市上野新里, 宮古島市下地島空港*					
2022年03月23日02時41分 沖縄県	台湾付近	23° 23.9' N	121° 29.5' E	44km	M6.6
震度 1 : 多良間村塩川, 宮古島市伊良部前里添					
2022年03月25日12時08分 沖縄県	宮古島近海	24° 55.3' N	124° 34.2' E	74km	M4.3
震度 2 : 多良間村塩川, 多良間村仲筋* 震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部前里添 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市下地*, 宮古島市上野支所*, 宮古島市平良西里* 宮古島市下地島空港*					

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※宮古島地方の震度観測点のみ記載しています。

※ 資料中のデータについて

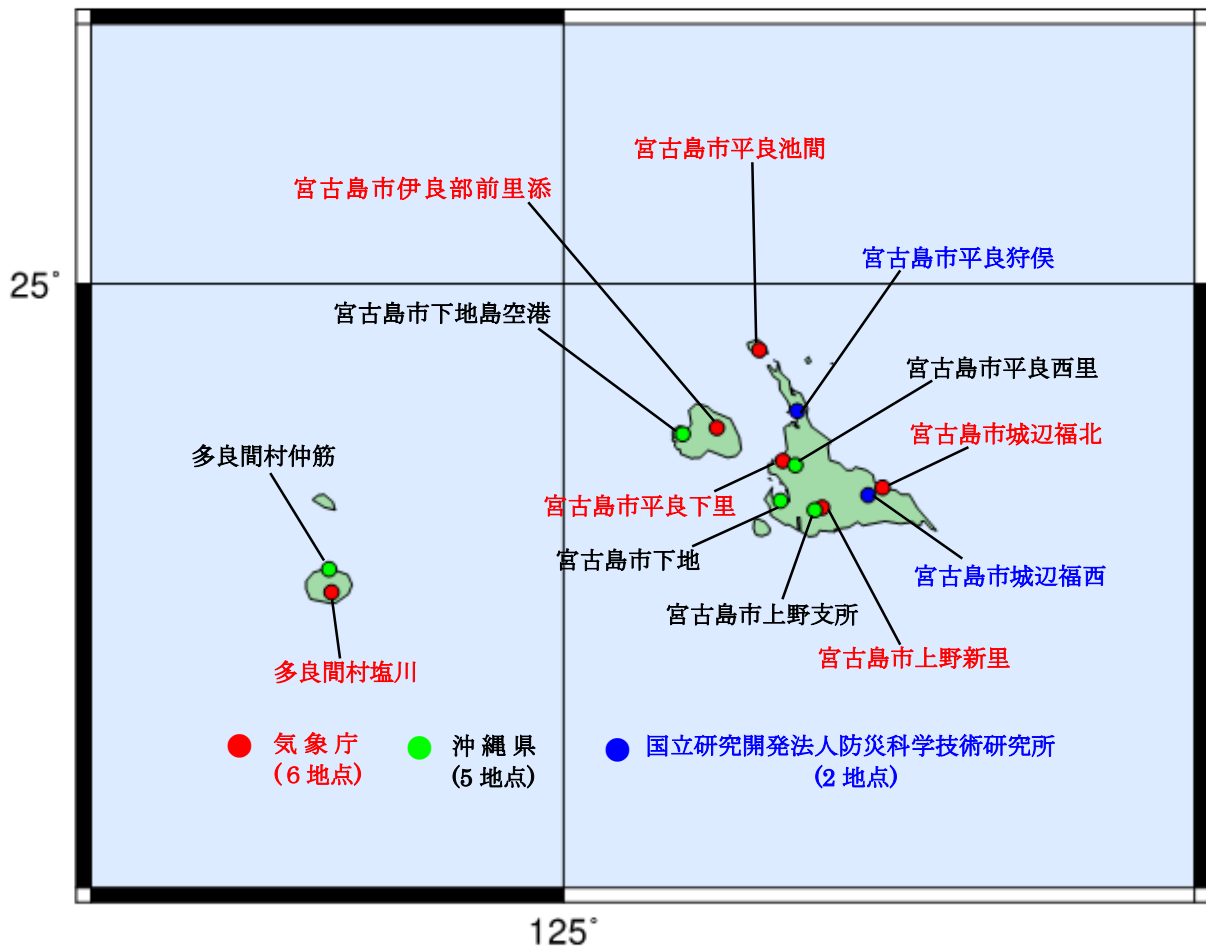
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方の震度観測地点



○ 宮古島地方の地震活動図

URL <https://www.data.jma.go.jp/miyako/topix/earthquake.html>

過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054



○ 防災一口メモ (沖縄気象台HP)

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

季節ごとに注意すべき自然現象や、防災情報の利活用方法について解説しています。

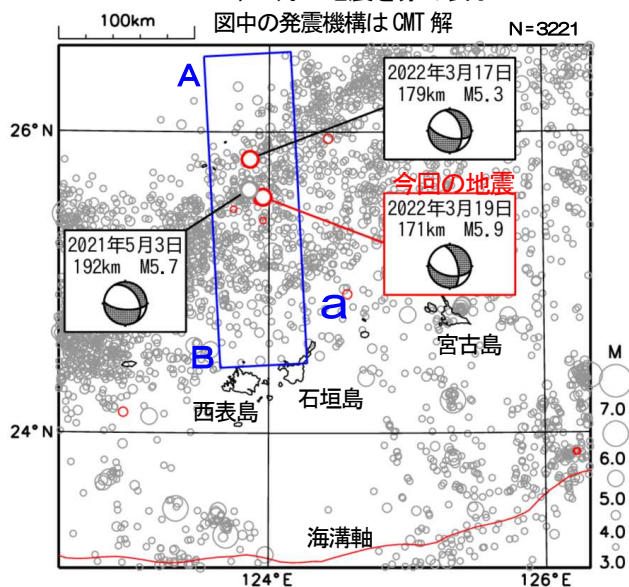
○ 震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

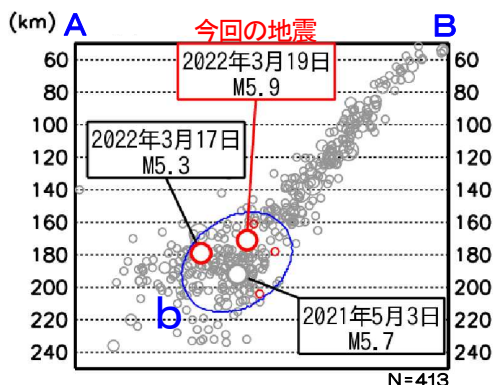
3月19日 石垣島北西沖の地震

震央分布図

(2000年7月1日~2022年3月31日、
深さ 50~250km、 $M \geq 3.0$)
2022年3月の地震を赤く表示

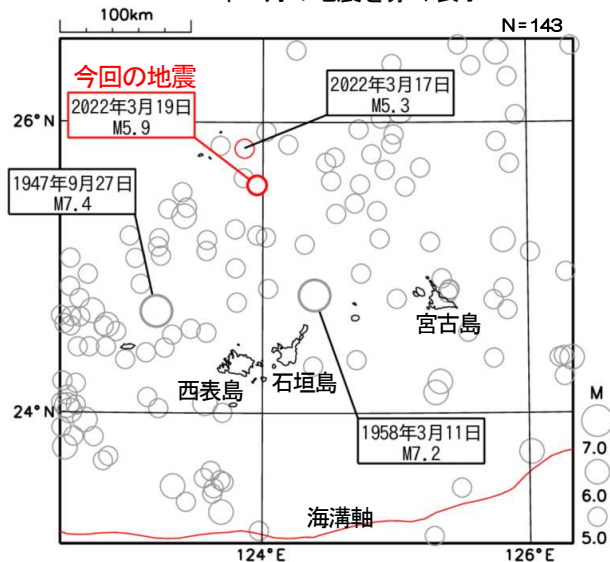


領域a内の断面図 (A-B投影)

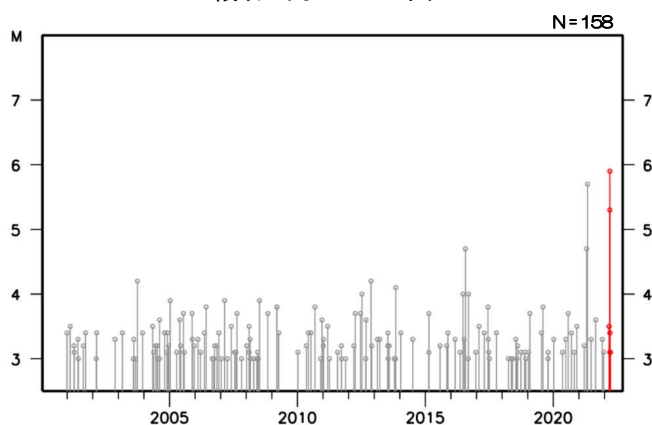


震央分布図

(1919年1月1日~2022年3月31日、
深さ 50~250km、 $M \geq 5.0$)
2022年3月の地震を赤く表示

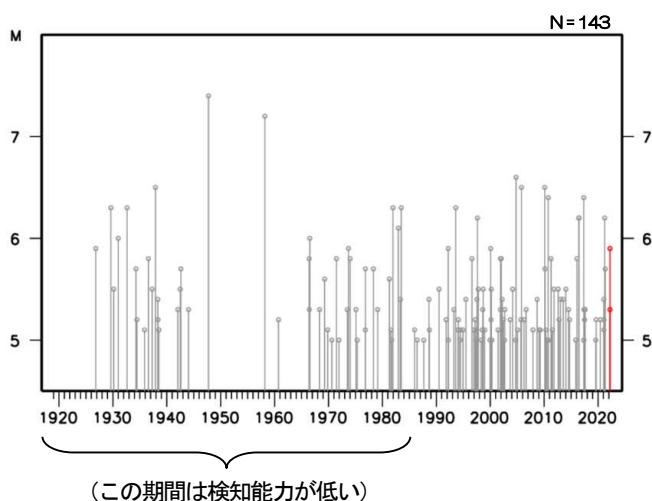


領域b内のM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、過去にM6.0以上の地震が時々発生しており、1947年9月にはM7.4の地震（最大震度5）が発生し、先島諸島で死者5人のほか、地割れや落石、山崩れ等の被害が生じました（被害は、「日本被害地震総覧」による）。

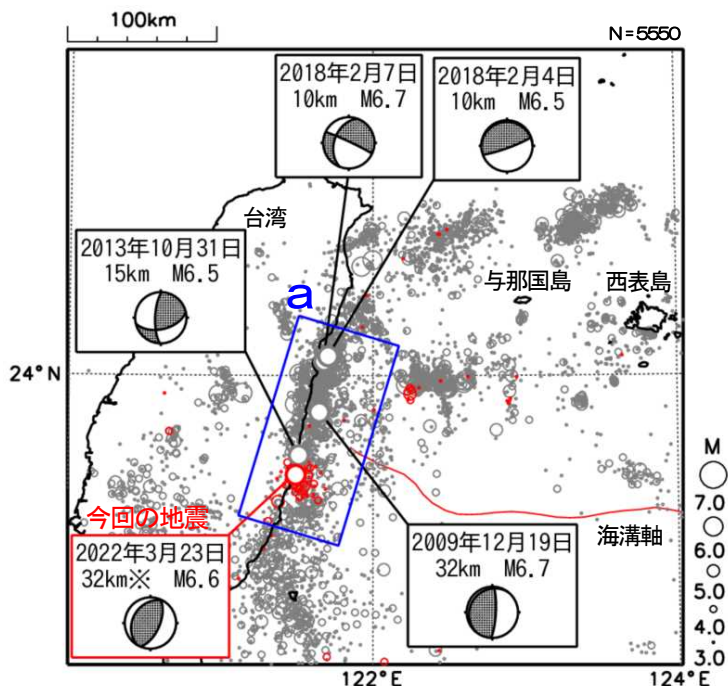
左図領域のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

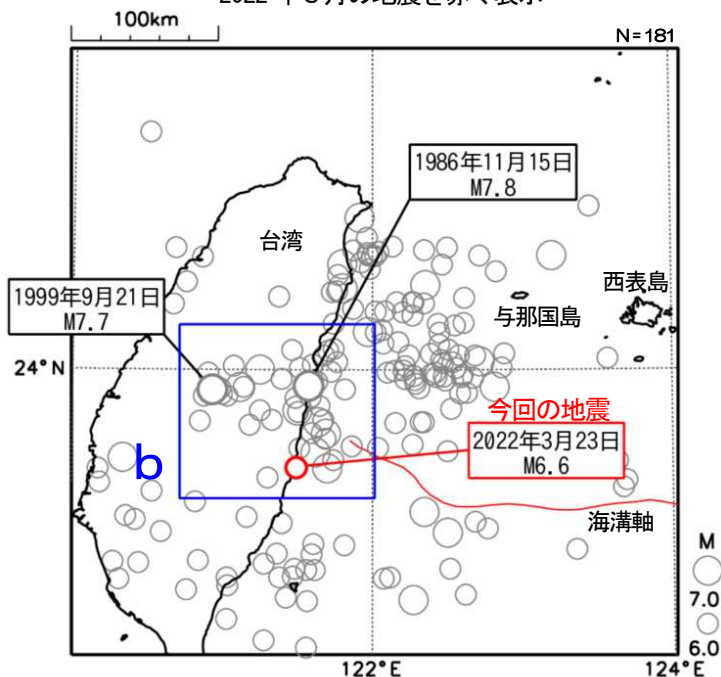
3月23日 台湾付近の地震

震央分布図
(2009年9月1日～2022年3月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2022年3月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



※今回の地震の深さはCMT解による

震央分布図
(1919年1月1日～2022年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2022年3月の地震を赤く表示

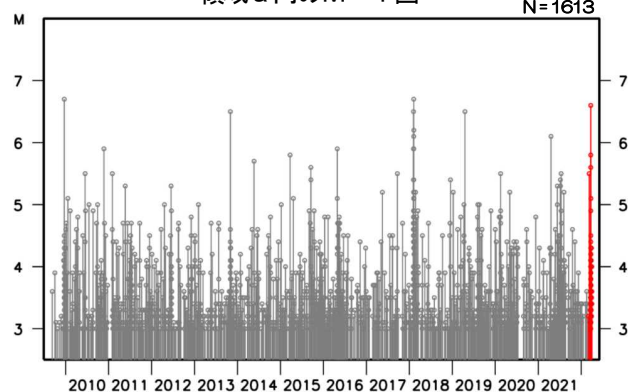


注: 1986年11月15日の地震の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。その他の震源要素は気象庁による。

2022年3月23日02時41分に台湾付近の深さ32km (CMT解による) でM6.6の地震 (国内で観測された最大の揺れは震度2) が発生しました。この地震の発震機構 (CMT解) は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型です。

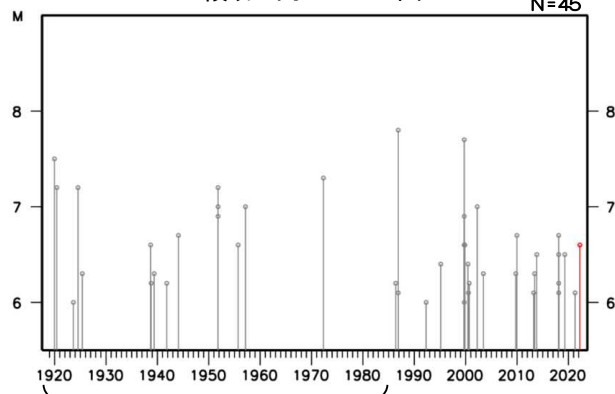
2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近 (領域a) では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2009年12月19日のM6.7の地震では、日本国内で観測された最大の揺れは震度3です。

領域a内のM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、過去にM7.0以上の地震が時々発生しています。1986年11月15日にM7.8の地震^注 (国内で観測された最大の揺れは震度3) により、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害がありました。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震 (日本国内で最大震度2) が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害がありました。(被害は、「宇津の世界被害地震の表」による)

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)